

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	32	利用者の入所期間が長くなりにつれ、心身状態の低下が伺える。利用者の重度化が見られるが、職員の介護技術や知識不足が見られる。また、常駐の看護師や協力医からの往診体制もなく緊急時の対応に不安がある。本人や家族が安心できるケアを行いたい。	利用者が重度化しても自信の持てる介護がしたい。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者(家族)へ「重症化が生じた際の、支援方法」を契約時、支援過程を説明(確認書の作成) 看取りの研修(内部・外部研修) 移動や移乗、機械浴、清拭等の研修(内部・外部研修) 献立や配膳(形態)、食事摂取の方法の工夫 	12ヶ月
2	34	町内会との合同防災訓練を年1回実施しているが、地域の方より避難誘導の際の車椅子操作が分からないとの声があった。また、利用者家族から緊急時の連絡先や方法が分からないとの声もあった。	地域の方と一緒に、安全・安心な車椅子操作ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民主体の車椅子操作の講習会 緊急連絡先や方法の明確化 	12ヶ月
3	3	徐々に浸透しているが、グループホーム(認知症対応型共同生活介護)の特性の理解がまだまだである。	グループホームが持つ機能や技術を地域に発信したい。	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式を考慮しながら、地域住民の方々へ出向いての講話や介護相談等に乗る 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。